



環境省  
エコアクション21  
認証番号：0012347

# 環境経営レポート

2022.04.01～2023.03.31



有限会社  
**FSD** 藤中電設

## 未来を豊かに

わたしたち藤中電設は、ライフラインを支える事業を通して、社員とその家族の未来とお客様の未来、そして地域の未来を豊かにすると共に、企業として当事者意識と責任を持って環境活動を推進し、持続可能な社会実現に向けて積極的に取り組んでまいります。



## 目次

はじめに	2
環境方針	3
沿革	4
環境管理システム	5
対象範囲、レポートの対象期間と発行日	6
主な環境負荷の取組結果と次年度の取組計画	7
電力使用量の削減と節電	8
使用燃料の削減	9
水道使用量の削減	10
廃棄物排出量の策変	11
産業廃棄物排出量の削減	12
緑化活動と社会貢献活動	13
環境に配慮した工事	13
エネルギー使用中長期目標（原単位）	14
その他の取組	14
環境関連法規	15
次年度の環境活動計画	16
全体評価と見直し	17

## 基本理念

有限会社藤中電設は、地球で活動する企業として当事者意識を持ち、持続可能な社会の実現と美しい地球や故郷の自然環境を次世代に引き継ぐため、全社員一丸となって環境活動に取り組みます。



## 基本方針

- ① 環境関連法及び条例等を遵守します。
- ② 建設工事に関わる各段階において、環境負荷の少ない事業活動を行います。
- ③ 社用車両の燃料使用抑制に努め、二酸化炭素排出量を削減していきます。
- ④ 省エネルギー・節電に努め、二酸化炭素排出量を削減していきます。
- ⑤ 建設工事及び事務所における廃棄物排出量の削減及びリサイクルを推進します。
- ⑥ 建設工事及び事務所における節水活動により、水使用量を削減します。
- ⑦ 環境に配慮した物品を調達する「グリーン購入」を推進します。
- ⑧ 環境に配慮した工事を推進します。
- ⑨ 道路清掃及び環境美化活動に積極的に取り組みます。
- ⑩ 環境経営レポートを毎年作成し、外部公表します。
- ⑪ これらの環境方針は社員全員に周知徹底し、一丸となって取り組みます。

制定日 平成29年5月31日

有限会社 藤中電設

代表取締役 藤中 昭宏

## 組織の概要

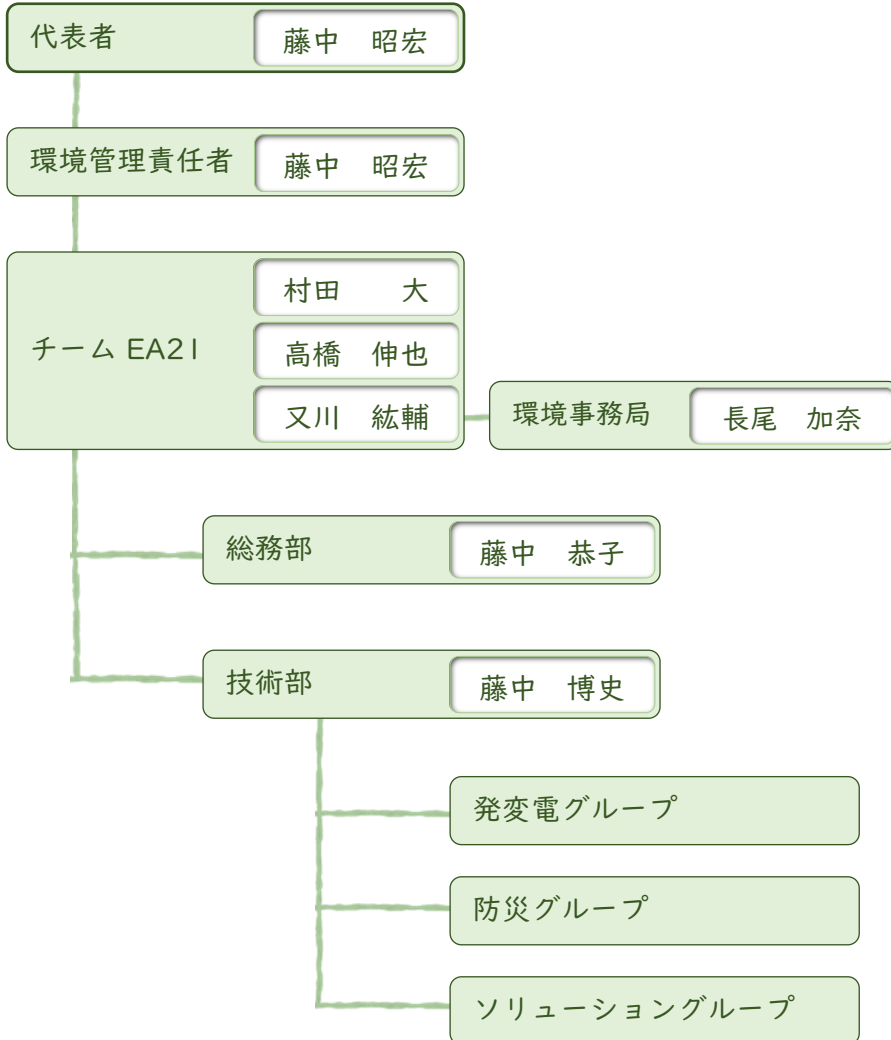
事務所名	有限会社 藤中電設			
代表者	代表取締役 藤中 昭宏			
所在地	神田事務所	高知県高知市神田2231-5		
	長浜事務所	高知県高知市長浜1608-3		
事業内容	電気工事業・機械器具設置工事業			
	高知県知事許可(般-2)第7413号			
事業規模	設立	1995年4月14日		
	資本金	300万円		
	完成工事高	232百万円(2022年4月~2023年3月)		
	従業員数	18名(2022年4月現在)		
	延床面積	神田事務所	29.7㎡	
		長浜事務所	69.8㎡	
	環境管理責任者	代表取締役	藤中 昭宏	
環境事務局	技術部	ソリューショングループ	長尾 加奈	
連絡先	TEL	088-831-0640		
	FAX	088-831-0661		
	Email	a_fujinaka@f-dn.co.jp		
	URL	http://www.f-dn.co.jp		

## 藤中電設のあゆみ

●	1995年	4月	有限会社 藤中電設 設立
		6月	電気工事業許可 取得
●	1996年	8月	機械器具設置工事業許可 取得
		10月	現在地へ社屋を移転(神田事務所)
●	2006年	7月	高知市長浜へ新事務所 完成(長浜事務所)
		9月	藤中昭宏 代表取締役に就任
●	2017年	10月	エコアクション21認証 取得
		4月	SDGs 取組開始
●	2020年	10月	こうちSDGs推進企業 登録
		11月	事業継続力強化計画 認定
●	2021年	5月	神田事務所を長浜事務所へ統合
		現在に至る	



## 環境管理組織体制



## 環境管理システム 役割・責任・権限表

代表者	環境経営に関する統括責任 環境経営システム実施に必要な人員、設備、時間、技能、技術者の準備 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 環境目標、環境活動計画の承認 代表者による全体評価と見直しの実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 (代表者兼任)	環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規などの取りまとめ表の承認 環境目標、環境活動計画を承認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
チームEA21	環境管理責任者の補佐 各工事や業務における環境活動の実施、指導 環境問題に関する勉強会の実施
環境事務局	環境管理責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規など取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規など取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーション窓口 環境経営レポートの作成、公開
部門長	自部門における環境方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 自部門に係る環境活動計画の実施、達成状況報告 自部門に係る緊急事態訓練の実施 自部門の問題点の発見、是正、予防措置の実施
従業員	環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

## 対象範囲

① 対象範囲 (認証・登録範囲)

有限会社 藤中電設 (全社・全組織・全活動・全従業員)

② 対象事業所

神田事務所：高知県高知市神田2231-5

長浜事務所：高知県高知市長浜1608-3

③ 事業活動

建設業 (電気工事業、機械器具設置工事業)

④ レポート期間

2022年4月 ~ 2023年3月

⑤ レポート発行日

2023年6月

次回発行予定：2024年6月

⑥ レポート作成者

環境事務局 技術部 ソリューショングループ 長尾 加奈



# 主な環境負荷の実績と目標



## 主な環境負荷の実績と目標

項目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	40,931	37,400	45,509
一般廃棄物排出量	Kg	602	196	340
産業廃棄物	Kg	0	0	0
水道水使用量	m <sup>3</sup>	170	181	180

## 環境目標と実績値

		2021年 基準値	2022年			2023年 目標	2024年 目標
			目標	実績	達成状況		
燃料使用量	ガソリン L 基準年比	4,948	4,849 -2%	5,842 83%	×	4,750 -4%	4,651 -6%
	軽油 L 基準年比	7,974	7,815 -2%	10,003 78%	×	7,655 -4%	7,496 -6%
電力使用量	kWh 基準年比	8,216	8,052 -2%	9,441 85%	×	7,887 -4%	7,723 -6%
C02排出量	kg-CO2 基準年比	37,400	36,652 -2%	45,509 81%	×	35,904 -4%	35,156 -6%
用水使用量	m <sup>3</sup> 基準年比	181	177 -2%	180 99%	△	174 -4%	170 -6%
一般廃棄物 排出量	kg 基準年比	225	221 -2%	340 65%	×	216 -4%	212 -6%
産業廃棄物 排出量	t 基準年比	6.28	6.15 (2021年目標値) -2%	0 -	○	6.03 -4%	5.90 -6%
産業廃棄物 再資源化率	% (2021年目標値)	100	100	100	○	100	100
グリーン購入量	%	100	100	100	○	100	100
社会貢献活動	回	5	5	5	○	6	6
環境負荷の少ない 工事件数	%	100	100	100	○	100	100

※達成率(%)：目標÷実績×100

評価：○ 達成(100%以上) △ 不十分(99%~90%) × 未達成(90%以下)

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.651kg-CO2/kWh



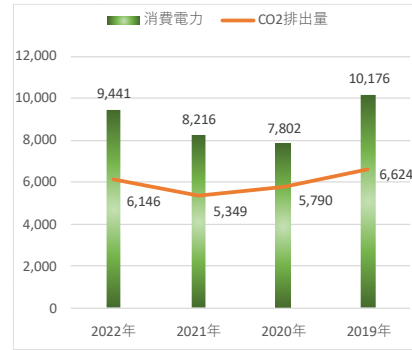
## 電力使用量の削減

### 事務所増設による電力使用量の増加

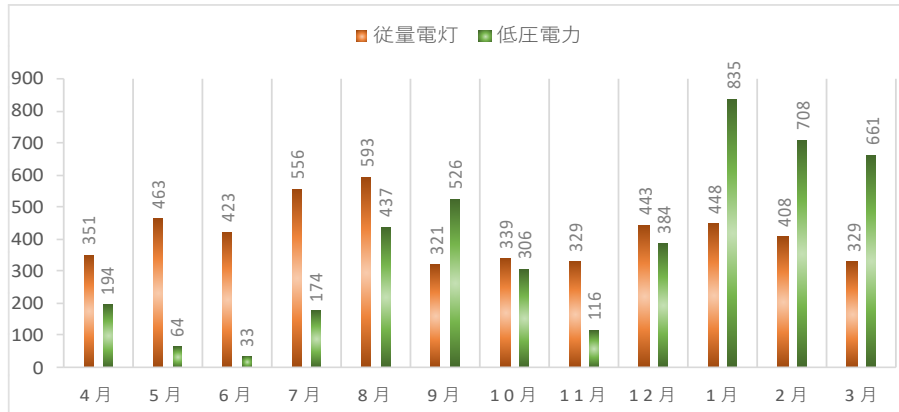
2022年8月に、2階倉庫部分を新たに新事務所を増設。電灯および空調機器やOA機器の利用増加により、消費電力量が増加傾向にあると思われます。

数値目標と実績	達成状況
目標8,052kWh → 実績9,441kWh 達成率85%	✗
取組計画	達成状況
エアコンの温度設定 (冷房28℃/暖房20℃)	○
事務所外出時及び昼休みの照明オフ	○
未使用時のパソコン電源オフ	○
ウォームビス、クールビスの励行	○

### 消費電力の推移 (kWh)



### 毎月の消費電力 (kWh)



### 具体的な取組の一例

- ・使用していない場所での消灯
- ・パソコンの省電力設定
- ・空調機器の設定温度
- ・ENERGY STAR機器の導入など



### 来年度の取組

2023年5月に、神田事務所の長浜事務所への統合を予定しています。それにより、ますます電力使用量の増加が見込まれるので、節電エコチェッカーの導入や、消費電力のモニタリング、月毎の目標値を決めて社内への周知と情報共有を行います。

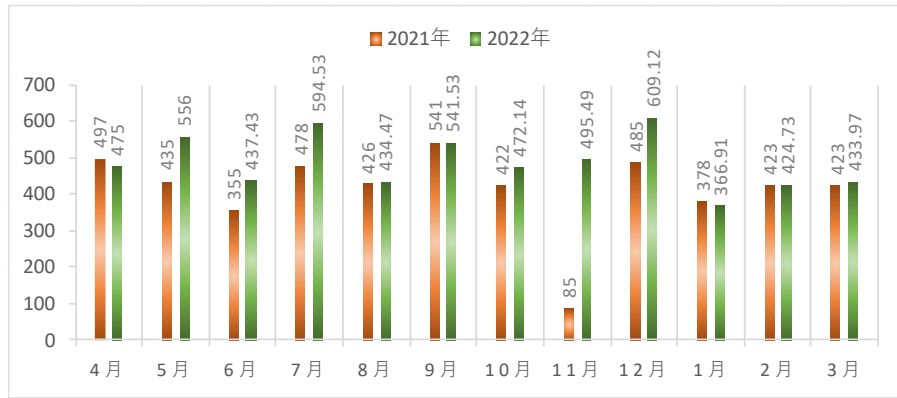


## 使用燃料の削減

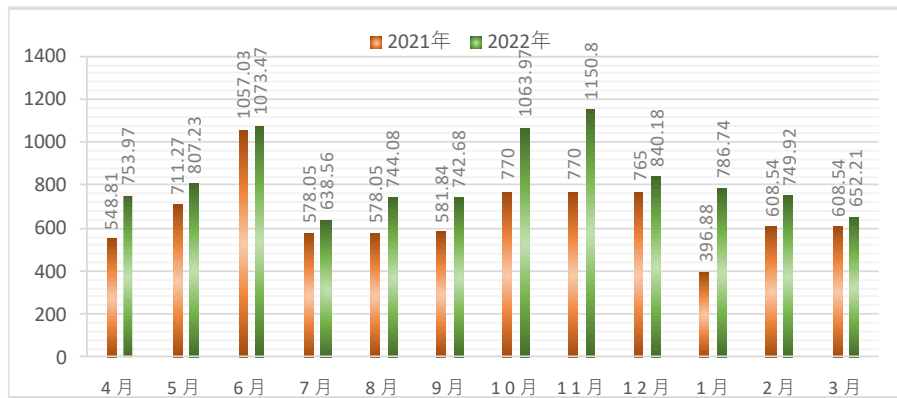
### 工事現場環境による燃料使用量の増加

昨年度に比べて工事受注規模が拡大し、それに伴い作業車両の使用回数や距離が増加傾向にあります。また、県外への営業活動など事業規模の拡大等による使用量増加が原因と見られます。

### ガソリン使用量の比較 (L)



### 軽油使用量の比較 (L)



数値目標と実績	達成状況
ガソリン使用量 目標 4,849L → 実績 5,842L 達成率 83%	✗
軽油使用量 目標 7,815L → 実績 10,003L 達成率 78%	✗
取組計画	達成状況
急発進、急ブレーキをしない	○
不要な荷物を積まない	○
適切な配車計画の実施	○
タイヤ空気圧の確認	○
適切なメンテナンスの実施	○
ハイブリッドカーの導入	○
エコドライブ10の励行	○



ディーゼルエンジン&DPR-II 「平成28年排出ガス規制」に適合  
力強いトルクとクリーン性能を両立。

直列4気筒・ターボインタークーラー 総排気量：4.098L

燃費 超準達成率 燃費 超準達成率 燃費 超準達成率

DPR-II 全車、尿素水を使用せずに排出ガス規制をクリア

尿素フリーにより、メンテナンスの負担を軽減。クリーン、経済性、そして架装・積載性にも貢献。

排出ガスの浄化装置では、DPR-II<sup>®</sup>も搭載し、尿素フリーも実現。マフラー側でも排気温度が100℃以上によりNOxの浄化性能を向上させ、排出ガス規制をクリアしています。また、尿素水の補充が不要なことで、ランニングコストの抑制に貢献します。

## 来年度の取組

来年度からも送配電部門の受注増が見込まれるため、より一層のエコドライブへの意識付けが必要とされます。社内で推進すると共に、適切な配車計画を検討します。また、車両の老朽化による更新時期にも重なるため、新規購入車両の環境対策や燃料消費量にも注目し、購入の検討材料にします。

## 水道使用量の削減



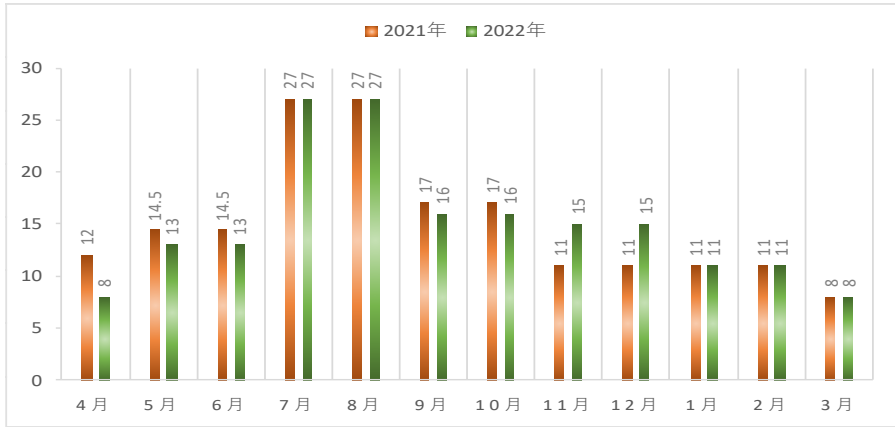
### SDGsを意識づけた節水の呼びかけ

SDGsを身近に感じてもらえるための節水標識を掲示しました。社内では、水を使用する場所全てに節水標識を掲示し、トイレには綺麗に使ってもらえるための意識啓発を行いました。

数値目標と実績		達成状況
用水使用量	目標 177m <sup>3</sup> → 実績 180m <sup>3</sup> 達成率 99%	△
取組計画		達成状況
手洗い時水を出しっぱなしにしない		○
まとめ洗いの工夫をする		△
漏水点検を行う		○



### 水道使用量の比較 (L)



### 来年度の取組

事務所増設に伴い新たにトイレも増設したことにより、水道使用量も増加が見込まれます。対策として節水リングの導入と、洗車や工具洗浄のために雨水タンクを来年度内で導入し、経過を観察します。

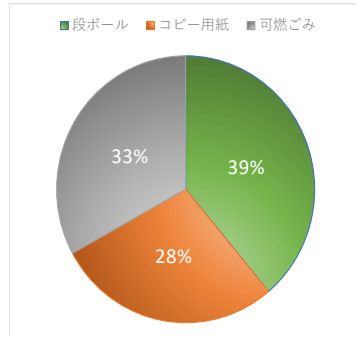
## 廃棄物排出量の削減

### 資材のネット調達による段ボールゴミの増加

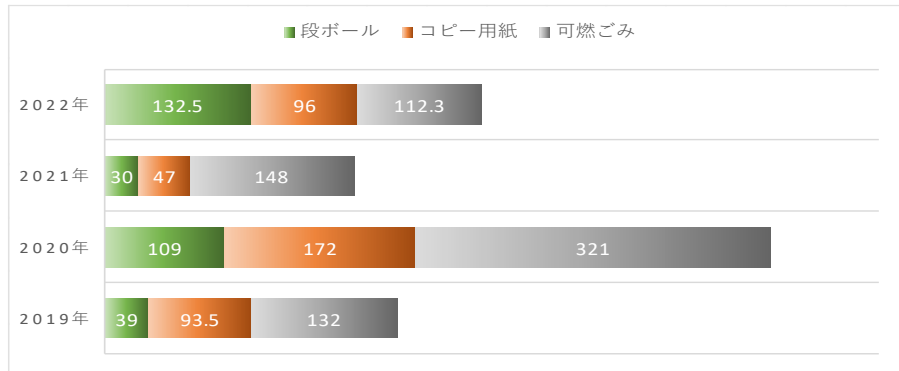
取引先の増加や発注先の変更により、工事資材をネット販売で購入する機会が増加したことにより、梱包材のダンボールの排出が増えています。一般ごみについては、弁当トレイや個人ゴミの持ち帰りが定着し、排出量としては減少しています。

数値目標と実績	達成状況
一般廃棄物排出量 目標 221kg → 実績 340kg 達成率 65%	❌
取組計画	達成状況
コピー用紙の裏側の再利用	○
弁当トレイの各自持ち帰り	○
ごみ分別の徹底	○

### 一般廃棄物の内訳 (%)



### 排出量の推移 (kg)



### 具体的な取組の一例

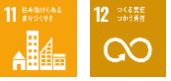
- ・コピー用紙の再利用
- ・弁当ゴミなど個人ゴミの持ち帰り
- ・廃材等の再利用と整理
- ・ゴミ分別の徹底 など



### 来年度の取組

来年度も引き続き、取り組みを継続していきます。ダンボール排出量については、発注タイミングをあわせるなどできるだけ梱包資材を減少できるように発注を心がけます。また、社内で使用しているペーパータオルについても使用方法を見直し、給湯室では通常のタオルを活用するなど排出量削減を目指します。

## 産業廃棄物排出量の削減



### 3 R活動の展開と5 Sへの取り組み

産業廃棄物は例年客先による廃棄などが多く、年毎の傾向が掴みづらい部分があります。弊社としてはここ数年取り組んで来た3 R活動をより積極的に推進し、新たな展開として社内に5 S活動の意識を定着させるために取り組んでいます。

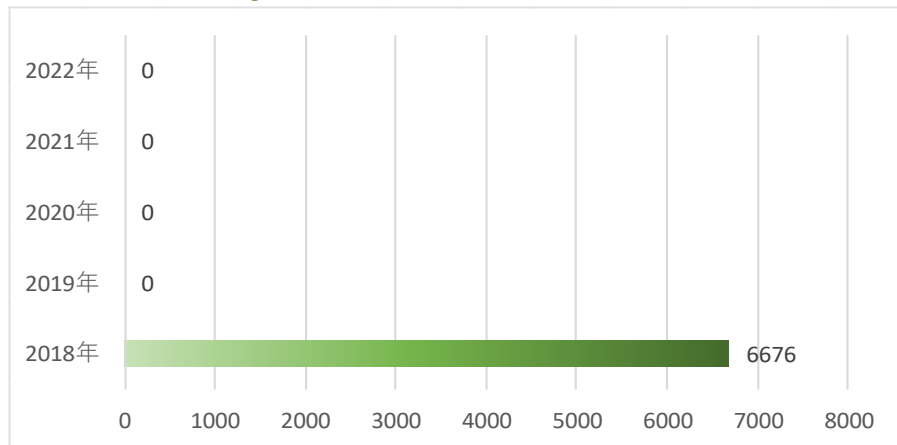
### 3 R活動と5 S活動

3 R活動で生まれた廃材再利用の道具や設備は、社内外を問わずに活用されています。今年度は津波による浸水対策として工具の一部を2階に整理し、それぞれの持ち出し先や整備状況の情報共有ができるボードを掲示するなど、5 Sを意識した取り組みを行ってきました。

数値目標と実績		達成状況
産業廃棄物排出量	目標 6.15t → 実績 1.84t 達成率 334%	○
取組計画		達成状況
無駄のない材料取りを心がける		○



### 排出量の推移 (kg)



### 来年度の取組

5 S活動へのさらなる意識付けのために、環境教育を活用して社内に5 S活動の教育を実施します。また、倉庫内の区画分けなどをわかりやすく明示するなど身近なところから5 S活動を推進していきます。

## 緑化活動

### 会社敷地の花いっぱい活動展開中！

去年から始めた敷地の緑化活動ですが、今年も継続して行っています。

### 社会貢献活動

社会貢献活動として、コロナ禍で所属協会のボランティア活動は減少していますが、かわりに周辺道路の清掃や草刈りなどの活動を行っています。



数値目標と実績	達成状況
社会貢献活動	○
取組計画	達成状況
各協会ボランティア活動への参加	○
会社敷地内への花いっぱい活動	○
会社周辺道路の清掃	○

## 来年度の取組

駐車場スペースの整備、会社入口の緑化など総務部が中心となって緑化活動に取り組んでいきます。

## 環境に配慮した工事

### 環境対策型クレーンの使用

弊社の工事では、低騒音型及び排出ガス基準適合車や環境対策型クレーンを使用するなど、工事場所の周辺環境へ配慮しています。

### 環境教育

毎月の定例会では、引き続き安全・品質・環境に関する社内勉強会を開催しています。定例会以外でも社外勉強会へ積極的に参加し、SDGsに関しても学んだことを社内に展開しました。

数値目標と実績	達成状況
環境負荷の少ない工事	○
取組計画	達成状況
作業時の騒音及び粉塵対策	○
低騒音、排出ガス対策型重機の使用	○
リサイクル材、県産品、間伐材などの使用	○
工事開始前の環境パトロール及び点検協議	○

## 来年度の取組

エコアクション活動の充実とともにSDGsの社内浸透を目的として、定例会における勉強会を充実させていきます。

また、環境に配慮した工事については引き続き環境対策型重機の使用を徹底し、現場周辺の環境パトロールなどをお客様と共に行い、記録として残していきます。



## エネルギー使用量の中長期目標（原単位）

			2021年			2022年			2023年		2024年	
			基準値	目標	実績	達成状況	目標	実績	達成状況	目標	実績	達成状況
燃料使用量	ガソリン	L	29.99	29.39	25.18	○	28.79	28.19	-4%	-6%		
		基準年比		-2%	117%							
	軽油	L	48.33	47.36	43.12	○	46.40	45.43	-4%	-6%		
		基準年比		-2%	110%							
電力使用量	kWh	49.79	48.79	34.71	○	47.80	46.80	-4%	-6%			
	基準年比		-2%	141%								
CO2排出量	kg-CO2	266.67	261.34	157.98	○	256.00	250.67	-4%	-6%			
	基準年比		-2%	165%								
用水使用量	m <sup>3</sup>	1.10	1.08	0.76	○	1.06	1.03	-4%	-6%			
	基準年比		-2%	141%								

※原単位：百万円（売上高 232百万円）

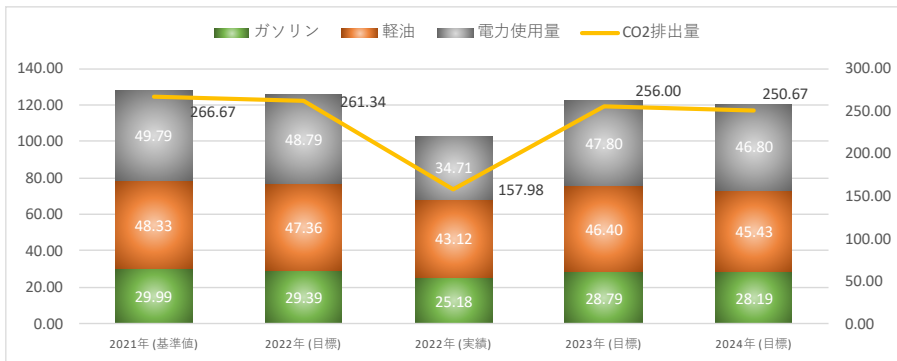
達成率(%)：目標÷実績×100

評価：○ 達成(100%以上) △ 不十分(99%~90%) × 未達成(90%以下)

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.65l kg-CO2/kWh

## 軽油使用量増加もCO2排出量は減少

原単位目標の数値でも、作業現場の環境により軽油使用量は増加傾向にあります。しかし、電力使用量が目標を十分に達成していることにより、最終的なCO2排出量も達成することができました。



## その他の取組

### BCP(事業継続計画)の作成

弊社の工事現場は山間部が多く、緊急時の安全な避難と、復旧時の資材の素早い運搬ができるかが課題でした。各工事現場に避難場所のQRコードを掲載した避難計画書を掲示し、災害発生時の体制づくりを目指しました。



### 災害時備蓄品の充実

災害時の備蓄物資を充実させました。災害時の拠点となるため、非常用電源として発電機を常備し、災害時救助毛布や25年間の賞味期限を持つサバイバルフードを弊社2階倉庫に備蓄しています。



### 緊急事態対応訓練の実施

避難計画書を元にした緊急時の流れやQRコードから避難場所マップを呼び出す訓練などを実施しています。



今後の課題として、実際の被害を想定した緊急時連絡体制の訓練や避難時の時間計測などの具体的な流れを一通り練習する必要があります。



## 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	○事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	環境管理責任者 及び各工事担当者	遵守	令和5年3月31日
	第7条の13項	○一般廃棄物収取運搬基準に従った収集運搬表示、書面備付義務	必要時		遵守	令和5年3月31日
	第12条	○産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	環境事務局	遵守	令和5年3月31日
	第12条三	○産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	環境事務局	遵守	令和5年3月31日
	第12条三 7項	○マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事(高知県知事)への提出	年1回（毎年6月末）	環境事務局	遵守	令和5年3月31日
	規則第7条の三	○保管場所の表示 見やすい箇所に掲示板を設置(縦60cm以上×横60cm以上)	必要時	環境管理責任者	遵守	令和5年3月31日
建設工事に係る資材の三資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	第5条	建設資材廃棄物の発生抑制、分別及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	各工事担当者	遵守	令和5年3月31日
資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）	第4条	○土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	各工事担当者	遵守	令和5年3月31日
騒音規制法	第14条	特定建設業の実施の届出（建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	各工事担当者	遵守	令和5年3月31日
振動規制法	第14条	特定建設業の実施の届出（建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	各工事担当者	遵守	令和5年3月31日
水質汚濁防止法	第14条 二の二	事故等により油を含む水が公共用水域に排出又は地下等に浸透した場合の対応 （事故の状況及び講じた措置の概要を県知事に報告）	必要時	環境管理責任者	遵守	令和5年3月31日
浄化槽法	第10条 第11条	○年4回の浄化槽の保守点検、清掃実施 ○年1回の水質検査実施	年1回	環境管理責任者	遵守	令和5年3月31日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	遵守	令和5年3月31日
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	遵守	令和5年3月31日
電気工事業法	第3条、第19条 ほか	○電気工事の適正な実施	必要時	各工事担当者	遵守	令和5年3月31日
建設業法	第3条、第18条 第22条ほか	○建設工事の適正な実施	必要時	各工事担当者	遵守	令和5年3月31日
フロン排出抑制法	第16条、第19条 第43条、第45条	○業務用エアコンの簡易点検、記録（廃棄後3年保存） ○廃棄時の回収依頼書又は委託確認書の交付	簡易点検3か月毎	環境管理責任者	遵守	令和5年3月31日

# 次年度の環境活動計画



計画期間：令和5年4月～令和6年3月

担当者：全社員

期限：令和6年3月

項	目	活動内容
CO2排出量削減	燃料使用量削減	急発進、急ブレーキをしない
		不要な荷物を積まない
		適切な配車計画の実施
		タイヤの空気圧の確認
		適切なメンテナンスの実施
	電力使用量削減	運行前点検と車両日報の徹底
		エコドライブ10の励行
		エアコンの温度設定（冷房28℃/暖房20℃）
		事務所外出時及び昼休みの照明オフ
		未使用のパソコンの電源オフ
用水使用量削減（排水量削減）	使用前のフィルター点検	
	★ グリーンカーテンの活用	
	サーキュレータ、USBファンの活用	
	手洗い及び水使用時にしっばなしにしない	
	まとめ洗いの工夫をする	
	漏水点検を行う	
	★ 節水リングの導入	
	★ 雨水タンクの設置	

項	目	活動内容
廃棄物削減	一般廃棄物	コピー用紙の裏側を再使用する 弁当トレイは各自で持ち帰る ゴミ分別の徹底 マイバッグキャンペーンへの参加
	産業廃棄物	マニフェスト発行による適正処理実施
グリーン購入		グリーン購入法適合商品を優先して購入 コピー用紙は再生紙を購入する 事務用品は詰替えてできる商品を購入
	環境負荷の少ない工事实績	作業時の騒音及び粉塵対策 低騒音、排出ガス対策型重機の使用 リサイクル材、県産品、間伐材などの使用 工事開始前の環境パトロール及び点検協議
		社会貢献活動

※次年度については基本的に本年度の内容を継続して実施

※★印は来年度からの新しい取組



## 環境管理責任者の報告及び改善提案

### 【取組状況の評価結果】

#### ①環境関連法規制などの遵守状況

令和5年3月31日に定期評価を実施した結果、遵守されております。

#### ②問題点の是正処置及び予防処置の状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日の間、  
是正処置予防処置となるものはありませんでした。

#### ③前回までの代表者の指示事項への対応

前回に引き続き、実績データを蓄積しながら適切な目標を計画します。

#### <改善提案>

特になし

定期見直し  臨時見直し

作成者：代表取締役 藤中 昭宏

実施日：令和5年4月26日

## 環境管理責任者の報告及び改善提案

目標項目	目標値 達成状況	活動計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)
ガソリン使用量の削減	×	○	営業活動及び工事現場環境による使用量の増加
軽油使用量の削減	×	○	営業活動及び工事現場環境による使用量の増加
灯油使用量の削減	—	—	使用なし
電力使用量の削減	×	○	2F事務所増設による電力使用量の増加
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	×	○	上記使用量増加による
用水使用量の削減	△	△	雨水タンク設置を検討
一般産業廃棄物排出量の削減	○	○	適切に達成できた
産業廃棄物排出量の削減	○	○	適切に達成できた
環境負荷の少ない工事の増加	○	○	適切に達成できた
グリーン購入	○	○	適切に達成できた
社会貢献活動への参加	○	○	適切に達成できた

#### <改善事項>

今年度の数値を新たな基準値に定めて、来年度より経過を観察する。

## 周囲の変化の状況と問題点是正

### ①外部コミュニケーション記録より

令和4年4月1日～令和5年3月31日の間、  
外部からの苦情はありませんでした。

### ②環境関連法規制等の動向他

改定はありません。

### <改善提案>

今年度の数値を新たな基準値とする

### ・その他問題点の是正

特になし

## 代表者による見直し

### 【環境方針】

変更の必要性：なし

環境方針は社員に浸透かつ、日頃の業務活動での意識も見られるので、変更の必要性はない。

### 【環境目標・環境活動計画】

変更の必要性：あり

環境教育及び環境方針の浸透により、各工事での意識レベルも向上が見られる。引き続き環境教育を実施し、結果を環境活動計画にフィードバックする。

### 【環境経営システム】

変更の必要性：なし

有効に機能しており変更の必要はない。  
常にPDCAサイクルを意識して取り組む。

### 【実施体制】

変更の必要性：なし

## 総括

昨年度数値に基づき基準値を見直す予定であったが、2F事務所とトイレの増設、神田事務所の統合などにより環境が変化し、2023年度の実績値を元に新たな基準値を設定する。取組に関しては事業の状況により左右される要素が多いものの、社内に環境問題への意識も芽生え、不要時の電灯オフや一般廃棄物の分別徹底などが適切に行われている。



エコアクション21

認証番号：0012347

安全で豊かに暮らせる社会のために

FSD

有限会社  
藤中電設

発行日  
2023年6月1日